

日本留学説明会・就職説明会同時開催報告

平成 29 年 11 月 30 日～12 月 3 日

11 月 30 日コチンにて高校・大学訪問留学説明会を実施、本学主催初となるオールジャパン産官学による留学説明会と就職説明会を同時開催しました。また 12 月 1 日から 3 日間、第 1 回 Japan Mela (日本祭) にブース参加しました。

1. 今回の訪問先はケララ州 (州都：トリバンダム) 南インド初の訪問地です。” God’ s own Country” と呼ばれ、識字率ほぼ 100%という数字はインド随一を誇ります。人々は豊富な水源と豊かな緑、アユルベータに囲まれて暮らし、市内ではストリートチルドレンを見かけない裕福な州です。

日印関係から見ると、古くは 1970 年代インド最大の国営コチン造船所が三菱重工の技術援助で建設され、現在はここで空母ビ克蘭トが建造されています。1975 年新田ゼラチンがコチンにゼラチン工場建設して進出したことで知られ、近年、2015 年 11 月山陰インド協会がケララ州と姉妹都市協定を締結して、日印交流が拡大して盛んになっています。

今回、松江市と市内 IT 企業そして島根大学の産官学と一緒にコチンを訪問しました。これを契機に当方がコチ理工大にて企画した留学説明会と就職説明会の同時開催では、他 3 大学、新潟大、立命館大と桜美林大が参加しました。

松江発のプログラミング言語 Ruby の技術者養成を目指した国際研修センターがコチに完成して、IT で日印の繋がりが出来ています。2017 年 1 月松江市はコチンより IT インターンシップ (就業体験) 生 11 人 (IT 技師 5 人と学生 6 人) を招待して、内 1 人が今年松江市 IT 企業 Monstar Lab. 社に就職した実績があります。

松江市は、インド・IT 人材確保・企業連携実行委員会を組織して、国際的人材育成に取り組んでいます。

(資料 PDF :

<http://www.pref.shimane.lg.jp/education/kyoiku/daigaku/kyoiku/youshikisyakaigi.data/2-08sankoushiryou4-3.pdf>

<http://www.sanin-chuo.co.jp/www/contents/1493246238648/index.html>)

2. 今回の大学訪問を契機に以下 3 件の大学間 MOU が締結されました。

- 1) 島根大学が 2 件契約し、島大はこの協定をベースに交換留学生の実施が期待されている。

又、日本語教師を派遣して日本語教室の開設、同大の事務所設立を課題として取り組む方針。

★州立コチ理工大 : <http://www.cusat.ac.in/>

★私立 Rajagiri School of Engineering and Technology :

<https://www.rajagiritech.ac.in/Home/Index.asp>

2) 新潟大学が1件契約：★州立コチ理工大 <http://www.cusat.ac.in/>

このMOU締結に関して海洋科学の共同研究に期待との現地新聞が報道しました。

(参照：<http://www.newsexperts.in/marine-science-niigata-university-co-operate-cusat/>)

3. 11月30日(木) 高校大学訪問

1) 午前 私立高校訪問@Chinmaya Vidyalaya Cochin ; <https://chinmayavidyalaya.in/>

●1971年創立 同校2012年卒のOGであるMs.Silpa Chandran Ranajsree (現在本学大学院理学系研究科化学科専攻の研究生 2017年9月卒~2018年4月修士入学予定)の紹介を受けて同校を訪問しました。彼女からの在校生向けメッセージを配布し会場で朗読をしました。

● Ms Prathiba V 教頭の歓迎の辞で開始しました。質疑応答終了後お茶を頂き、校長先生にご挨拶して全て終了しました。参加者は高校2年生(11年生)127中85人男女(理系及び商学志望者、。日本訪問経験者はいませんでした。(参照:添付プログラム)
3年生137人は当日試験で不参加。この学校は幼稚園から12年生合計2150人規模の全日共学校です。

●新潟大学理学部 Kumar 教授と同伴のインド人 PhD 学生 Sreehari 君はケララ州トリバンドラム(州都)出身でした。先生のプレゼンと質疑応答にOGのSilpaさんのメッセージも加わり、日本留学の説明を身近な話として理解して貰えたと感じました。

2) 午後 州立大学訪問@Cochin University of Science and Technology (CUSAT)

●セミナー会場とブース会場で2つの同時対応を実施しました。(参照:添付プログラム)

セミナー：前半：小職の日本紹介、松江市副市长ご挨拶、島根大学副学長のご挨拶、

IT企業3社：Monster Lab. 他のプレゼン

後半：参加5大学のプレゼン

ブース会場：7ブース 正面2ブース 松江市とIT企業 右3：東大、島根大、立命館大

左2：新潟大 桜美林大

●参加者：セミナー：約300人

ブース：東大ブースには約100人来場。大学主催インターンシップに人気集中した。

●特記事項

プログラムになかった特別な計らいを、CUSAT国際本部長 SAJU 教授が松江市星野副市长が壇上でスピーチする際に演出をされました。計らいというのは、松江市予算で、来年1月ケララ州の3大学からインターンシップに2週間10人を招待する事業を決め、CUSATから招待する学生4人(男女各2)が決定。その招待状を副市长から壇上で授与する式典が行われました。

そして副市长は、「山陰いいとこ、留学と就職に是非来てね！」と、アピールされて、大喝采、大歓迎されました。このインターンシップは2年目。昨年度3大学から6人が招待されて1人が実

際に就職し、CUSAT女子学生が一人就職内定しましたが、ご両親の反対で断念した、という経緯があります。本年度は10人のインターン生が決まり、1月の訪問が予定されています。

CUSAT以外残る6人は3人づつを2大学、Rajagiri School of Engineering and Technologyと私立 SCMS School of Engineering and Technology: <http://www.scmsgroup.org/sset/>より受け入れます。今年1月の参加のインターン生と来年1月のインターン生を集めた歓迎会を松江市副市長が30日市内のホテルで主催されました。

4. 高校大学訪問終了後、下記2つのイベントに参加しました。

1) AOTS 同窓会創立50周年記念式典(11月30日)

会場: 市内 INJACK(印日商工会議所ケララ)ビルオフィス

平松大使ご夫妻を主賓に招いて開催しました。約200名が参加した盛大な催しとなりました。

2) INJACK 主催 Japan Mela (12月1日~3日)

会場: Lulu Mall コチ市内中央にある大規模ショッピングモール

(<http://lulumall.in/>) 入り口広場に16ブースが設置されました。1ブースに4大学(島根大、桜美林大、立命館大、東大)が入り対応しました。

5. JAPAN MELA

3日間を通じて、留学志望プログラムとしてエンジニアリングとビジネスマネジメントの質問が8割を占めました。

●12月1日(金) 11時~11時半

開会式: AOTS 下大澤常務理事によるドラム叩き、松江副市長のテープカットが行われました。

大学ブース(テーブル2つ)来場者: 約300人

イチバンライフ株式会社(<http://www.ichibanlife.jp/original.html>)

代表取締役 鮎澤大社長(横浜市立大学生命ナノシステム科学研究科 長寿科学研究室 名誉教授)も参加されていました。

●12月2日(土)

大学ブース(テーブル4つ)来場者: 約250人

●12月3日(日)

大学ブース(テーブル4つ)来場者: 300人以上

さすがにモールへの入場者は3日間で一番でした。午前11時から午後11時営業して1日20万人の入場者があるという話も現実的な感じを受けました。

●写真



11月30日 高校訪問より



11月30日 CUSAT ブース会場



11月30日 CUSAT セミナー会場



12月1日大学ブース



12月2日大学ブース